



2025年度2学期号

教育相談室だより

くまぺろ

大阪体育大学 浪商中学校・高等学校

学校生活アンケート（いじめを防止するために）結果を振り返る

学校生活アンケート結果を学校全体で確認しました。アンケートは「誰かを責めたり、加害者を探したりをする」ものではなく、「どうすればもっと安全な学校になるか」を、みんなで考えるために、年に2回実施しています。今回の自由記述でも、不適切な言葉かけをされた生徒に対し、思いやりの声を上げてくれた人がいます。こんな声が、学校をより良い場所にする力になります。今回は、各クラスでアンケート結果を振り返り、ワークシートを記入してもらいました。ワークシート1枚1枚に、いじめを防止するために自分ができること、人間関係の難しさなど、数多くの本音が書かれていて、誠実に考えてくれたことが表れています。

＜感じたこと＞

- ・嫌なことを嫌だとはつきり伝えられて、それで関係が悪化しない関係が本当の友達なのかなと思った。
- ・自分でやめてと言えたらいいけど、やっぱり言えないという気持ちはすごくわかる。
- ・自分のクラスが嫌だという人が一人でもいるのは良くないと思った。
- ・嫌な気持ちになっている人が、こんなにたくさんいることに驚いた。
- ・自分のことしか考えずに周りのことを考えていなかったと感じた。
- ・静かに授業を受けたい。
- ・自分のことで、いっぱいいっぱい。
- ・人間関係は難しい。
- ・よくなったらいいけど、半分あきらめている。
- ・アンケートを通して本音を言っていて、みんなに不満がたまっているんだと思った。

＜自分にできること＞

- ・まずははようとあいさつすること。
- ・一人一人がみんなのことを考えて行動する。
- ・そうじでクラスをきれいにするという習慣も安心できる場所につながると思う。
- ・人に相談できるようにする。
- ・人をいじるのもほどほどにする。
- ・いじってしまい、行き過ぎを感じたら謝る。
- ・嫌な時は嫌だと頑張って言ってみる。
- ・学校のルールは、一人ひとりがしっかり守る。
- ・いじめを感じることがあれば、声をかけ、先生に知らせることが出来る人になりたい。そんな人が増えたらいいと思う。

＜学校への意見＞

- ・何かの物事について、みんなで議論し交流する。
- ・もっと先生が厳しくなればいい。
- ・先生との個人懇談できる機会を増やす。
- ・生徒会でも出されていた意見箱を任意のクラスで設置する。クラスで話し合う場を作る。

一部の意見を掲載しました。全体として、いやな思いをしたり、困っていたり、苦しんでいたりしている人がいたら、勇気をもって声を出すことを大切にしていきたいという意見が多く、頼もしく感じました。学校への意見もしっかり受け止め、今以上に、安心・安全な学校を目指します。

【南海トラフ巨大地震】 12/9 高校1年生総合学習

【南海トラフ巨大地震】というテーマでDVDを視聴し、いつか必ず起る地震について、自分事として真剣に考える時間になりました。長時間の視聴になりましたが、集中して取り組んでいました。年末、家族が集まつたとき、以下のような話をする機会を持ち、個人個人が防災意識を高め、未来に備えていきましょう。

- ・避難経路の確認：学校や自宅から津波避難場所までのルートを確認し、いざというときに素早く避難できるようにしましょう。
- ・防災グッズの準備：食料や飲料水、懐中電灯、ラジオなどの防災グッズを準備しておくと安心です。

減災（被害を最小限に減らすこと）できる

高校生には、地域の防災リーダーになる力があります。例えば、家族や友人と一緒に防災計画を立てたり、SNSを使って防災の知識を広めたりすることができます。また、地震について勉強し、自分で情報を収集し、正しい知識を持つことも重要です。南海トラフ巨大地震は、いつ起きてもおかしくないとされていますが、準備をしっかりとすれば、被害を最小限に抑えることができます。



教育相談室利用案内

＜利用時間（予約優先）＞毎週月～木（午前9時～午後4時）

＜申し込み方法＞

★担任を通じて予約。

★相談室直通電話（070-8798-4733）でカウンセラーに直接予約。

12/21～1/5 ＜学校休業日12/25～1/5＞は、教育相談室お休みです。

緊急時は職員室072-453-7004へご連絡ください。

3学期、
教育相談室
で待っています。